

本教材の目的

- 働き方、暮らし方に関する人生の多様化等を踏まえ、生涯にわたって豊かな人生を送るためには、
 - ✓ 若いうちから自らのライフプランを検討するとともに、
 - ✓ 人生の様々なステージで必要となる資金の確保に向け、安定的な資産形成に取り組むことがますます重要になっています。
- 安定的な資産形成を行う上では、各個人が金融リテラシー（金融に関する知識や判断力）を高め、ニーズに見合う金融サービスを適切に選択することが重要です。
- また、2022年4月からの成年年齢が引下げられたことで、成人後すぐに金融トラブルに巻き込まれることを防ぐためにも、金融リテラシーを早めに身に付けることが求められています。
- 本教材は、こうした問題意識の下、2022年度より年次進行で実施される高校学習指導要領の家庭科等を踏まえ作成しました。

金融教育資料は下記の構成となっています。

- 全体パッケージ版（全ての内容を俯瞰する、特定のスライドを選択して使用）
- 全体ダイジェスト版（★付「お奨め」スライドのみ、比較的短い授業時間で使用）
- 各章版（授業で取り扱うトピックごとに使用）
 - ・ 0章:はじめに
 - ・ 1章:家計管理とライフプランニング
 - ・ 2章:使う
 - ・ 3章:備える
 - ・ 4章:貯める・増やす
 - ・ 5章:借りる
 - ・ 6章:金融トラブル
 - ・ 7章:まとめ

利用方法は下記がおすすめです。

- 赤星（★）付スライド＝「お奨め」を使用する。
- 教材はpdfのほか、パワーポイント形式でご提供しており、資料の抜粋や改変等も自由に行えます。
- パワーポイント版には、ノート部分に説明を記載しています。
- 「4章：貯める・増やす」については、投資の基本的な考え方の一つである長期積立分散投資や、NISA等の非課税制度の資料等を追加した、「応用編」も作成しています。資産形成について、時間をかけてより詳しく取り扱う場合には、「応用編」をご利用ください。